



The Alvis Car Company
established 1919

2022年4月5日

3リッター・コンティニュエーション・シリーズとして 最初の生産車両「グラバー・スーパー・クーペ」を初公開 オートモビル カウンシル 2022 で展示へ

- コンティニュエーション・モデルは4.3リッターと3リッターが初めて揃う
- コンティニュエーション／ヘリテージを合わせて6台展示

明治産業株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：竹内真哉、以下、明治産業）は、4月15日（金）～17日（日）に幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区）で開催される「オートモビル カウンシル 2022」のヘリテージカーゾーンに、3リッター・コンティニュエーション・シリーズとして最初の生産車両となる「グラバー・スーパー・クーペ」を含む6台を出展（小間番号：B01）いたします。

コンティニュエーション・モデル「グラバー・スーパー・クーペ」は The Alvis Car Company Limited（本社：イギリス、会長：アラン・ストート、以下、ALVIS 社）として最初の3リッター・コンティニュエーション生産車両となり、日本初公開となります。
また、2020年に発表した4.3リッター・コンティニュエーション・シリーズ「ヴァンデン・プラ・ツアラール」同様に公道走行可能なモデルとなります。

オートモビル カウンシルは、2016年より「CLASSIC MEETS MODERN」をコンセプトに開催され、往年の名車と最新のモデルが一堂に展示され自動車文化の創生を図るイベントです。
ALVIS 社は、1967年に量産車の製造を停止して以降も現在に至るまで既存オーナーのために部品の製造とALVIS車の修復を手掛け、2017年に「コンティニュエーション・シリーズ」の限定生産を発表し量産車の生産を再開するなど、英国流の自動車文化を体現しています。明治産業ではALVISによって新しい自動車の楽しみ方をお客様へ提供したいと考えており、2019年に続きオートモビル カウンシルに出展することとなりました。

展示車両概要

- コンティニュエーション・モデル
アルヴィス・3リッター・グラバー・スーパー・クーペ（日本初公開）
アルヴィス・4.3リッター・ヴァンデン・プラ・ツアラール
- ヘリテージ・モデル
1922年式アルヴィス・ワークス・10/30
1936年式アルヴィス・4.3リッター・ベルテッリ・スポーツ・サルーン
1937年式アルヴィス・3.5リッター・ランスフィールド・コンシールド・フード
1964年式アルヴィス・3リッター・TE21 パーク・ウォード・ドロップヘッド・クーペ



The Alvis Car Company
established 1919

展示車両詳細

●コンティニューエーション・モデル

アルヴィス・3リッター・グラバー・スーパー・クーペ（日本初公開）



スイスのコーチビルダー、グラバー社が架装したモデルは TA21～TF21 で合計 125 台ありました。ALVIS にとって最終モデルとなる TF21 は全生産台数 106 台であり、グラバー社が架装したのは 6 台に過ぎません。

コンティニューエーション・モデルとして生産される「3リッター・グラバー・スーパー・クーペ」は、ALVIS 社が所有する 1966 年式グラバー・スーパー・クーペから必要となる部分を 3D スキャニングしてデジタル・データ化し当時と同様の工法で製造しています。

TF21 に架装したモデルであるため、希少なグラバーの架装モデルの中でも特に希少なモデルとなります。

主要諸元表

エンジン：	直列 6 気筒 OHV
排気量：	2,993cc
燃料噴射装置：	マルチポートインジェクション
最高出力：	172bhp/5,000rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	5 速 MT
最高速度：	約 190.4km/h (119mph)
ステアリング方式：	電動アシスト付ラック&ピニオン式
ブレーキ形式 前：	ディスクブレーキ
後：	ディスクブレーキ
サスペンション形式 前：	ウィッシュボーン式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	2,832mm
全長×全幅×全高：	4,788×1,700×1,380mm
車両重量：	1,610kg
コーチワーク：	Graber
特別装備：	エアコンディショナー（日本独自仕様） レトロスタイルオーディオ（Bluetooth 機能付き） パワーステアリング パワーウィンドウ



The Alvis Car Company
established 1919

●コンティニューエーション・モデル
アルヴィス・4.3 リッター・ヴァンデン・プラ・ツアラー



2020年に上陸した日本第1号車の「4.3リッター・ヴァンデン・プラ・ツアラー」は、ALVISにとって3台目のコンティニューエーション・モデルとなります。その製造にあたり、ALVISではボディ・ワークをデータ化する必要がありました。当時はコーチ・ワーカーとしてヴァンデン・プラ社が架装していたためです。そのため、ALVISが所有する1937年式ヴァンデン・プラ・ツアラーから必要となる部分を3Dスキャンしてデジタル・データ化し、当時と同様の工法で製造いたしました。エンジンに関しては1936年に設計された当時のオリジナル図面を使用し、現代の精度・品質で4.3リッター・エンジンを組上げています。エンジンマネジメント・システムや操作・制動システムなどは現代的なシステムを採用していますが、当時と同じシステムにすることも可能です。シャシー・ナンバーは1937年に英国で150台分の認証を受けており、未使用の77台分の番号を使用して製造いたします。

主要諸元表

エンジン：	直列6気筒 OHV
排気量：	4,387 cc
燃料噴射装置：	トリプルスロットルインジェクション
最高出力：	160bhp/3,600rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	6速 MT
最高速度：	約 187.20km/h (117mph)
ステアリング方式：	ラック&ピニオン式
ブレーキ形式 前：	ディスクブレーキ
後：	ディスクブレーキ
サスペンション形式 前：	ウィッシュボーン式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	3,135mm
全長×全幅×全高：	4,900×1,700×1,360mm (幌装着時 1,500mm)
車両重量：	1,620kg
コーチワーク：	Vanden Plas
特別装備：	クーラー (日本独自仕様) レトロスタイルオーディオ (Bluetooth 機能付き)



The Alvis Car Company
established 1919

●ヘリテージ・モデル

1922 年式アルヴィス・ワークス・10/30



ALVIS が最初に製作したモデルであり、現存する 10/30 は 5 台という希少なモデルです。

この車両は 1922 年に製造されオリジナルの Cross & Ellis Sports Tourer with Dickey の車体で使用されています。この車両は今もオリジナルの番号をそのまま維持し、初期の珍しい「ウイング付き」バッジ・ラジエターが残されています。ALVIS のワークスドライバーであるジョー・ブラウン (Jo Brown) が大成功を収めたため、アルヴィス・ワークスの名を冠して売り出されました。ジョー・ブラウンは、1922 年だけでも「Fastest Time of the Day」大会を含む、国内記録会で合計 5 つの金メダルを獲得したほか、2 つのヒルクライム大会でも 1 位になりました。この展示車はオリジナルの車体が良好な状態で維持されている、極めて希少な 1 台です。

主要諸元表：

エンジン：	直列 4 気筒 SV
排気量：	1,460cc
燃料噴射装置：	SOLEX シングルキャブレター
最高出力：	30bhp/3,500rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	4 速 MT
最高速度：	60mph (約 97km/h)
ステアリング方式：	ウォーム & ローラー式
ブレーキ形式 前：	無し
後：	ドラムブレーキ
サスペンション形式 前：	ビームアクスル式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	2,794mm
全長×全幅×全高：	3,886×1,460×1,490mm (幌装着時 1,610mm)
車両重量：	N/A
コーチワーク：	Cross & Ellis



The Alvis Car Company
established 1919

●ヘリテージ・モデル

1936 年式アルヴィス・4.3 リッター・ベルテッリ・スポーツ・サルーン



1930 年代にヨーロッパ中席卷したデザイン・ムーブメントであるアール・デコは自動車デザインにも影響を与え、「エアライン」と呼ばれるデザインが生み出されました。ベルテッリ社が架装したこの車両のデザインもその典型例です。

この車両のローリング・シャシーは 1935 年のパリ・サロン及びスコットランド・ショーで展示され、そののちにスウェーデンのレース・ドライバー、ヘンケン・ウィーデングレンが購入、イギリスのベルテッリ社に架装を依頼したワン・オフ・モデルです。

4.3 リッター・エンジンが発表されると、それまでのエンジンに変えて換装され最終減速比も変更されました。

戦後に複数のオーナーを経て、2009 年に現オーナーが購入、レッド・トライアングル社によりレストアされ、1936 年当時の輝きを取り戻しました。

主要諸元表：

エンジン：	直列 6 気筒 OHV
排気量：	4,387cc
燃料噴射装置：	SU トリプルキャブレター
最高出力：	137bhp/3,600rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	4 速 MT
最高速度：	100.56mph (約 160.89km/h)
ステアリング方式：	ウォーム & ローラー式
ブレーキ形式 前：	ドラムブレーキ
後：	ドラムブレーキ
サスペンション形式 前：	ウィッシュボーン式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	3,150mm
全長×全幅×全高：	4,830×1,550×1,740mm
車両重量：	1,950kg
コーチワーク：	Bertelli



The Alvis Car Company
established 1919

●ヘリテージ・モデル

1937 年式アルヴィス・3.5 リッター・ランスフィールド・コンシールド・フード



ランスフィールド・コンシールド・フードは1938年のロンドン・モーターショーに出展するためにアルヴィス・スピード25のローリング・シャシーを使用し製造されました。

1936年8月にスピード25が発表された際に Motor Magazine 誌は以下のように書いています。「アルヴィス・スピード25は、安全に高速走行したい願望を持つユーザーの要望に応える車として生産されました。非常に高いアクセルレスポンスにより、高い走行安定性を実現しています。」

スピード25は、シリンダーヘッドとデュアルエキゾーストシステムを改良して性能を向上させながら、段階的に改善されていきました。

1936年から1940年にかけて合計391台のシャシーが製造されました。コーチワークの内訳は、サルーンが255台、ドロップヘッドクーペが67台、ツアラーが52台、その他17台です。

ランスフィールド・コンシールド・フードはその名の通り収納時にフードを完全に覆い隠す金属製カバーを備えており、その周りにはウォルナット製キャップが配され、フロントシートはスライディングクッションにするなど、ALVISにとって特別なコーチワークが施された唯一の車体となりました。

1982年にこの車両は「世界で最も美しい車のひとつ」に選ばれ、ベルリンのオートショー、der Superlative-Veedol Starparade で展示されました。

主要諸元表：

エンジン：	直列6気筒 OHV
排気量：	3,571 cc
燃料噴射装置：	SUトリプルキャブレター
最高出力：	106bhp/3,800rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	4速MT
最高速度：	96.77mph (約154.84km/h)
ステアリング方式：	ウォーム&ローラー式
ブレーキ形式 前：	ドラムブレーキ
後：	ドラムブレーキ
サスペンション形式 前：	ウィッシュボーン式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	3,160mm
全長×全幅×全高：	4,870×1,740×1,450mm (幌装着時1,570mm)
車両重量：	1,930kg
コーチワーク：	Lancefield



The Alvis Car Company
established 1919

●ヘリテージ・モデル

1964年式アルヴィス・3リッター・TE21・パーク・ウォード・ドロップヘッド・クーペ



TE21・パーク・ウォード・ドロップヘッド・クーペは、TE21のローリング・シャシーに、イギリスのコーチ・ワーカーであるパーク・ウォード社が車体を架装したモデルです。

TE21は1963年から1965年にかけて合計352台が生産され、そのうち95台はドロップヘッドクーペでした。

パーク・ウォードは1958年のTD21～TF21にかけて架装されたモデルです。

この車両は新車時からZF製5速マニュアル・ミッションとパワーアシストステアリングが装着された特別な仕様です。

主要諸元表：

エンジン：	直列6気筒 OHV
排気量：	2,993 cc
燃料噴射装置：	SU ツインキャブレター
最高出力：	130bhp/5,000rpm
駆動方式：	FR
トランスミッション：	5速 MT
最高速度：	110mph (約 176km/h)
ステアリング方式：	油圧アシスト付ボールナット式
ブレーキ形式 前：	ディスクブレーキ
後：	ディスクブレーキ
サスペンション形式 前：	ウィッシュボーン式
後：	リジットアクスル式
ホイール・ベース：	2,832mm
全長×全幅×全高：	4,796×1,676×1,450mm (幌装着時 1,524mm)
車両重量：	1,738kg
コーチワーク：	Park Ward
特別装備	クーラー (日本独自仕様)



The Alvis Car Company
established 1919

本件に関するお問い合わせ先

明治産業株式会社
アルヴィス事業部 ジェネラルマネージャー 桶谷
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-1-12
TEL 03-5563-8863
E-mail : alvis_info@meiji-japan.com
Web: <http://www.thealviscarcompany.jp>

明治産業について：

1933年（昭和8年）、自動車部品の製造・販売を目的として（資）明治商会を創業。1945年（昭和20年）、改組して明治産業（株）を設立。現在の事業内容は国内外メーカー商品を扱う自動車部品販売部門、自社ブランドであり「車を走らせることよりも、止めることのほうが難しい」との考えのもとに生まれた、ブレーキ部品・ブレーキフルード等の自社ブランド「Seiken」のグローバル展開、鉄道用車両装置・部品、建設機械、産業機械、工作機械、電動機、内燃機関、電気製品、化学工業製品を扱う機械販売部門、自動車部品の輸出部門を主に手掛けています。

国内販売網としては、自動車部品販売会社約1000社を主力として、官庁関係、大手ユーザーなどに迅速に供給。1967年（昭和42年）創立の有力販売店百数十社と優良メーカーで構成される明治百店会で相互の信頼を深め共存共栄の実をあげています。

海外輸出は、創業以来の輸入販売の経験を生かし、業界の先駆けとして自動車部品輸出を開始。1947年（昭和22年）に輸出部として部門化。現在では日本からの輸出に加え現地法人を通じ世界各国500社の得意先に向けて、さまざまな商品を提供しています。